

「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト
超早期診断技術開発プロジェクト



健康寿命の延伸を目指した
日常生活下生体情報モニタリングとビッグデータの活用

成果報告会

in 名古屋市立大学

参加
無料

2015
10/5

[月曜日]
18:00 ~ 20:30

会場 名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部研究棟 2 階
なごやかモデル・地域医療セミナー室

主催 名古屋市立大学大学院医学研究科・医学・医療教育学分野、
公益財団法人科学技術交流財団

共催 未来医療研究人材養成拠点形成事業 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」

お問合せ先 名古屋市立大学大学院医学研究科
医学・医療教育学分野（担当 早野、湯田） TEL：(052)-853-8503

▶挨拶

超早期診断技術開発プロジェクト (P3) 全体の研究成果

プロジェクトリーダー 名古屋大学 特任教授

太田 美智男

▶特別講演

名古屋市立大学病院における産官学統合研究開発の取り組み

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 教授
名古屋市立大学病院・医療デザイン研究センター センター長

國本 桂史

▶報告

腕時計型脈波・活動量モニタリング装置の開発

株式会社スズケン ケンツ事業部 学術企画課

舟橋 修司

ホルター心電図大規模データベースの構築と活用

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授

清野 健

身体活動量と健康寿命

名古屋市立大学大学院医学研究科・医学・医療教育学分野 研究員

吉田 豊

ホルター心電図による睡眠時無呼吸のスクリーニングと予後予測

名古屋市立大学大学院医学研究科・医学・医療教育学分野 教授

早野 順一郎